

関東の三堰！改修で河童子も安心

～農村地域防災減災事業(農業用河川工作物応急対策事業) 小倉堰地区(栃木市西方町本城)～

[概要]

昭和28年度に造成された小倉堰は、昭和53年に護床工などの対策事業が行われましたが、その後も河床低下が進み、更なる被害が予想されています。

本事業では、洪水による災害を未然に防止するため、護床工とゲートの改築を行っています。

なお、小倉堰付近には河童小(かっぱ)伝説があります。



(小倉堰全景)

[事業内容]

- ・ 受益面積 : 621ha(水田621ha)
- ・ 工期 : H27(2015)～R2(2020)年予定
- ・ 事業内容 : 護床工、ゲート設備
- ・ 総事業費 : 10億円
- ・ 作付作物 : 水稻

問い合わせ先 農地整備課:028-623-2369
下都賀農業振興事務所:0282-23-3428

[整備状況]



(出水時の土砂吐、洪水吐ゲート)



(転倒・沈下している護床工)

[受益者の声]



(小倉堰土地改良区 坂本理事長)

小倉堰頭首工は、河床低下による護床工の一部崩壊、流出や老朽化により、本来の取水量を確保できない状況にあります。

改修事業により、用水の安定供給が図られ、地域農業の発展に寄与する施設として管理していきたい。

[地区解説図]

